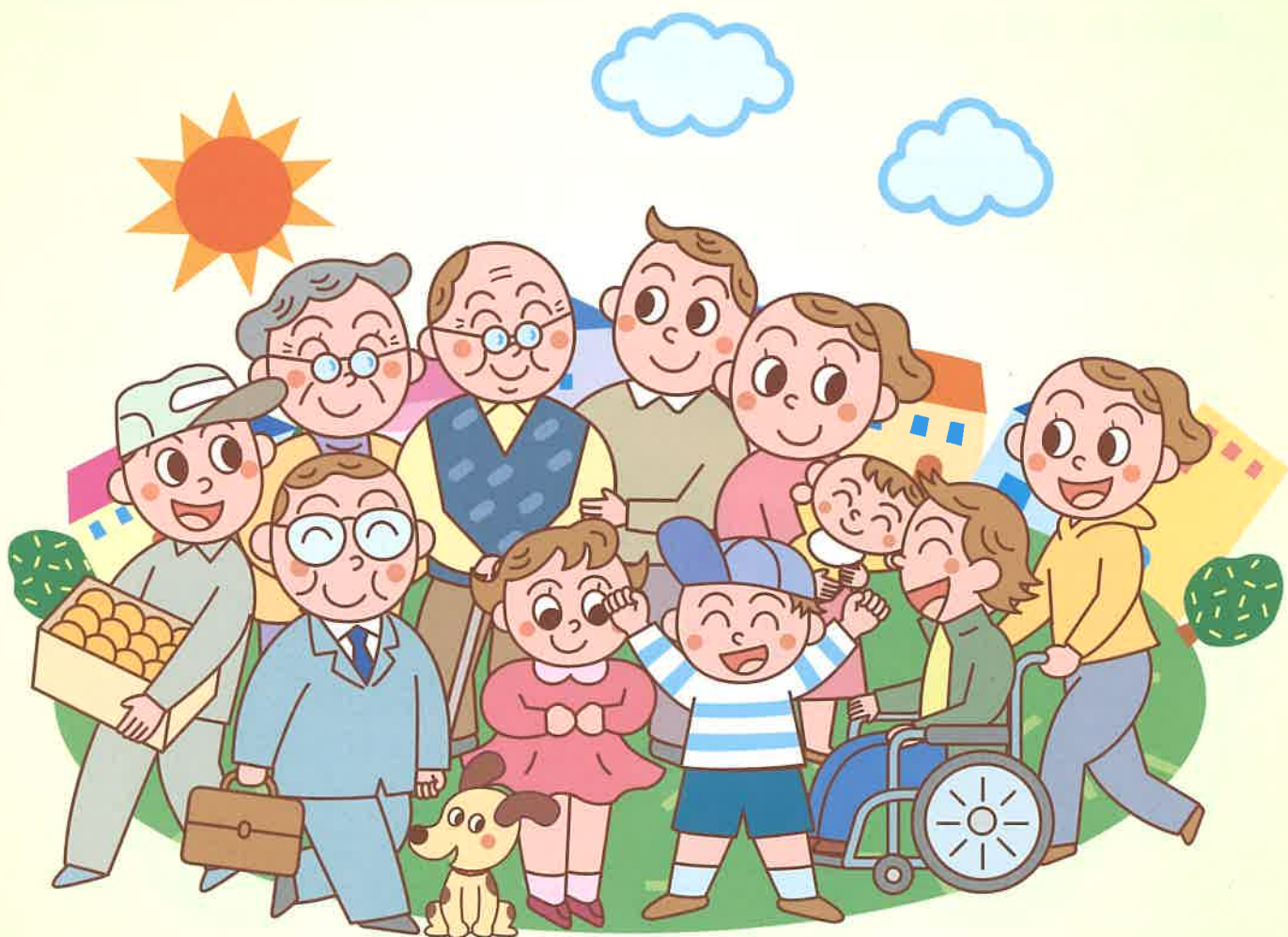


もっと知ろう！ ユニバーサルデザイン

～誰もが安全・安心で快適に暮らせるまちへ～



上越市では、「人にやさしいまちづくり」を進めるため、ユニバーサルデザインの普及・啓発活動に取り組んでいます。

この冊子により、ユニバーサルデザインについて理解を深めていただくとともに、市や事業者、市民が互いに理解し、協力しながらユニバーサルデザインに配慮した人にやさしいまちづくりを進めていきましょう。

上越市

ユニバーサルデザインってなあに？

「ユニバーサルデザイン」は「ユニバーサル=万人の」と「デザイン=計画、設計」を組み合わせた言葉です。

私たちのまちには、様々な人が暮らしています。「ユニバーサルデザイン」は、障害の有無や性別、年齢、国籍などの違いにかかわらず、あらゆる人に使いやすい製品や建物、都市空間、サービス等の提供を目指そうという考え方です。



車椅子の介助方法を体験（市職員研修会）

ユニバーサルデザインの7原則とは？

ユニバーサルデザインという言葉を使い始めたのはアメリカの建築家であり、工業デザイナーだったロナルド・メイス氏です。ロナルド・メイス氏は、ユニバーサルデザインを実現するための7つの原則を提唱しています。



バリアフリーとの違いは？

高齢者や障害のある人が、建物や乗り物などを利用する際に不便を感じないで生活できるように障壁（バリア）を取り除くことをバリアフリーといいます。

「ユニバーサルデザイン」は、高齢者や障害のある人だけでなく、みんなが利用しやすいようにデザインすることをいいます。

相手を思いやる心、助け合うやさしさ

= **心** のユニバーサルデザインです

ユニバーサルデザインで建物や施設を整備してそれで十分でしょうか？

多くのお金をかけ、いくらりっぱな施設を整備しても、他の人のことを考えず自分勝手に使ったりすればまったく整備した意味がありません。

また、施設が整っていない場合でも、利用する人が互いにおもいやりと少しの手助けや譲り合いで利用しやすくなります。

こんなことで困っています

車椅子なので、障害者専用駐車場でない乗り降りができません。ところが、このスペースに障害のない人が駐車していたので利用できませんでした。



体の自由がきかないので、多目的トイレを使いたいが、近いところで便利だからと、一般の人が利用していることがあり、困ります。



視覚障害のため、点字ブロックが歩くための頼りです。ところが点字ブロックの上に自転車や荷物が放置されていて、本当に困ります。



日本に住んだばかりで日本語があまり話せません。文化や風習の違いもあり、生活するのに不自由です。



すべての人が快適に暮らせるよう注意しましょう

「点字ブロックの上に物を置かないで！！」



視覚に障害がある人は、点字ブロックをたよりに歩きます。障害物があると転んだり、ぶつかったりして、事故の原因になります。

「障害者専用駐車場に一般の人は駐車しないで！！」



車椅子を利用している人は、自動車のドアを全開にしないと乗り降りできないため、広いスペースが必要となります。

身近なユニバーサルデザインを探してみよう

まちの中では…



●昇降施設

※駅にはたくさんの方が行き交う階段、エスカレーター、エレベーターがあり、利用する人が支障なく目的地に移動できるよう配慮されています。

※直江津駅では、エレベーターなどの昇降施設が1か所に集約されているため、利用者のニーズに合わせ自由に選択できるようになっています。

直江津駅

●多目的トイレ

車椅子使用者が利用しやすい十分な空間が確保されるとともに、チャイルドシートやおむつ交換台、*オストメイト対応洗浄設備などが完備されています。

※オストメイトとは…病気などが原因で、腹部に人工肛門、人工膀胱（ぼうこう）を装着している人のことをいいます。スタマ（人工排泄孔）用装具の洗浄が必要なため、オストメイト対応トイレが必要となります。



●*多言語生活ガイドブック

日本語だけでなく、英語や中国語など様々な国の言葉で作られた生活ガイドブック。各種行政手続きや医療、ごみの出し方、防災の心得などが分かりやすく掲載されています。

※市では6か国語でガイドブックを発行し、市民課窓口や国際交流センターで無料で配布しています。

家庭では…



●段差のない入口と自動ドア

建物の入口に高い段差がなく、自動ドアで誰もが使いやすくなっています。



●シャンプーとリンス

目をつぶっていても分かるようにシャンプーには凸凹が付いています。



●自動式のじゃ口

ハンドルやレバーを操作しなくても、手をかざすだけで使えます。



●絵文字標識

いろいろな情報をシンプルな図記号で表したものです。誰にでも伝わりやすいようデザインされています。



●自動販売機

子どもや車いすの方が使いやすいよう低い位置にボタンやお金の投入口が設置されています。



●画びょう

針を落としたときに上に向かず、抜くときに力がいらせん。

あなたのやさしさがみんなを幸せにします ～様々な立場の人を理解しよう～

手や足の不自由な人

先天的な理由による障害や病気、けがなどの後遺症により長期、あるいは一時的に手足が不自由となる場合があります。また、年齢を重ねることで身体能力が衰え、手足に不自由が生じる場合もあります。



■配慮

- 階段などで困っていたり、荷物が多いときなどは「お手伝いしますか」と、こちらから明るく声をかけましょう。
- 車椅子の人に話しかけるときは、腰を下ろして視線を合わせ、正面から話しかけるとお互いリラックスできます。
- 車椅子の介助は危険を伴います。まずはどう手助けすればいいのか本人によく聞きましょう。一人でできない時は無理をしないで周りの人と協力しましょう。
- 通路や出入り口などには通行の邪魔になるものを置かないこと。また、雨の日には、床が滑らないよう注意してください。

目の不自由な人



目からの情報が得にくいいため、音声や手で触れることにより情報を得ています。点字ブロックが敷設されていても慣れない場所では一人で移動することが困難です。点字を判読できる人は1割程度です。

■配慮

- まちで白い杖の人が立ち止まっているのは、方角が分からなくなってしまった場合が考えられます。進んで手助けを申し出るようにしましょう。
- 位置や道順を説明するときは「ここ、あそこ」などあいまいな表現はやめ、右・左、あと何歩、何メートルなど具体的に説明しましょう。
- 案内をするときは、相手の希望する側に立って腕を貸し、その人の半歩前を、歩くスピードに気を付けながら進みましょう。

耳の不自由な人

耳の不自由な人は、外見からはわかりにくい障害です。難聴・失聴した年齢などにより、手話や筆談などコミュニケーションの仕方は様々です。



■配慮

- 手話ができない人には筆談などで、筆談が苦手な人には絵や身振りでわかりやすく伝えましょう。
- 緊急時の音声情報は、その情報が聞こえないので筆談、絵、指差しなどで知らせるべきです。
- 日本語が理解できない外国人も、耳の不自由な人と同じです。困っていたら、声をかけてあげましょう。

見た目では障害があるか分からない人

難病の人や、心臓・腎臓など体の内部に障害のある人は、疲れやすかったり、補助用具〈ペースメーカー、人工肛門、人工膀胱（ぼうこう）〉を使ったりしているため、日常生活での制約が多くあります。障害者等用駐車場やオストメイト対応機能のあるトイレを優先的に利用できるよう配慮をお願いします。

難しい言葉や計算、読み書きなどが苦手な人

ゆっくりと分かりやすい言葉で接してください。また、他の人より不安感や緊張したりすることが多く、社会生活や日常生活を送る上で様々な困難があります。周りの人は、誤解や偏見を持たず、温かい心で接してください。

その他にも様々な人たちが
まちで暮らしています。
理解と、さりげない配慮が
生活の助けとなります。



上越市人にやさしいまちづくり 推進計画の概要

市では、平成11年に「上越市人にやさしいまちづくり条例」を制定しました。

この条例の理念を実現するため、「上越市人にやさしいまちづくり推進計画」を策定し、事業者や市民の皆さんと一緒に、あらゆる障壁のない地域社会の実現に努めています。

また、公共施設には様々な人々が集い、利用しています。施設整備に当たっては、市が独自に策定した「公共建築物ユニバーサルデザイン指針」に基づき、あらゆる人に配慮した施設になるよう努めるとともに、道路、公園などにおける段差の解消や、点字ブロックの設置などバリアフリー化を進めています。さらに、民間事業者の方々の施設整備においても高齢者、障害のある人等の利用に配慮した整備が行われるよう指導・助言を行っています。

目指すべき「人にやさしいまち」の姿

誰もが安全・安心で快適に暮らせるまち

市・事業者・市民の協力

人にやさしいまちづくりは、市だけ、あるいは事業者や市民だけの努力で実現するものではありません。市・事業者・市民が様々な場面で互いに協力しながら進めていく必要があります。

人にやさしいまちづくり の原動力として

- ①人にやさしいまちづくりへの理解と実践
- ②施設等の利用の妨げの禁止
- ③市の施策への協力



市民

事業者

人にやさしいまちづくり の協力団体として

- ①事業活動における配慮
- ②施設等の利用の妨げの禁止
- ③市の施策への協力



市

人にやさしいまちづくり の案内役として

- ①基本的かつ総合的な施策の策定、実施
- ②市・事業者・市民の連携への支援
- ③事業者・市民への支援

